

製品名: RAB8A ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87603**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:24 kDa; Observed MW:24 kDa

抗原情報

遺伝子名	RAB8A
別名	MEL; RAB8
遺伝子 ID	4218
SwissProt ID	P61006
免疫原	ヒト RAB8A の組み換えタンパク質

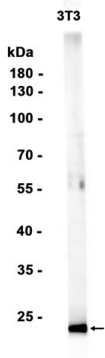
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、平均サイズが 200 アミノ酸の小さな GTP/GDP 結合タンパク質である RAS スーパー

ファミリーのメンバーです。RAB/YPTファミリーのRAS関連タンパク質は、小胞体からゴルジ体および細胞膜へのタンパク質の輸送に関与していると考えられます。このタンパク質は、イヌ RAB8、マウス MEL、およびマウス YPT1 タンパク質とそれぞれ 97%、96%、および 51%の相同性があり、すべてのRASタンパク質に存在する4つのGTP/GDP結合部位を含みます。このタンパク質の推定エフェクター結合部位は、RAB/YPTタンパク質のものと類似しています。ただし、このタンパク質は、多くのRASスーパーファミリーメンバーに特徴的であるが、YPT1および大多数のRABタンパク質には見られないC末端CAAXモチーフを含みます。この遺伝子はメラノーマ細胞株から形質転換遺伝子として単離されたが、MELと悪性黒色腫との連鎖は証明されていない。このがん遺伝子は、染色体19p13.1上のMY09Bから800kb遠位に位置する。[RefSeq提供、2008年7月]

研究分野

画像データ



RAB8A ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した 3T3 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。